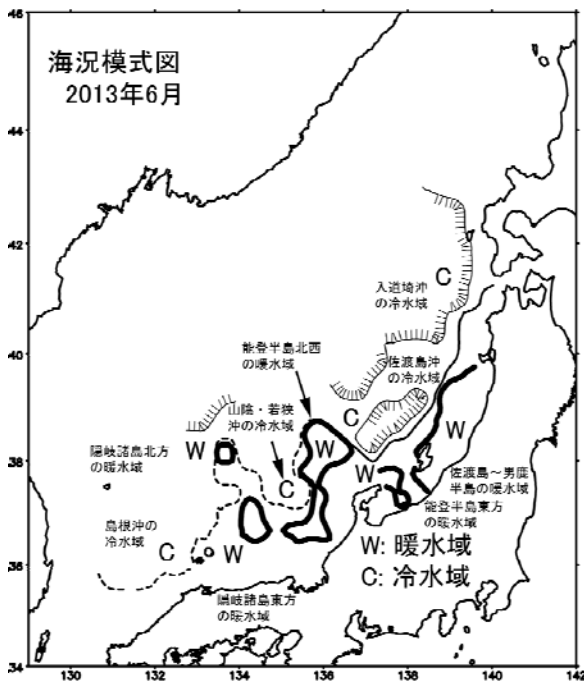


平成25年度 第2回 日本海海況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し独立行政法人水産総合研究センター
 日本海区水産研究所がとりまとめた結果 －

今後の見通し(平成25年7月～9月)のポイント

- ・ 対馬暖流域の表面水温は、“かなり高め”で経過する。
- ・ 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“平年並み”で経過する。



2013年7月～9月の海況

- 隠岐諸島北方と隠岐諸島東方の暖水域は、東方に移動し能登半島北西の暖水域と合体する。
- 能登半島北西の暖水域は、やや西方に移動した後ほぼ停滞する。
- 能登半島東方の暖水域は、弱体化して消滅する。
- 佐渡島～男鹿半島の暖水域は、弱体化しながら北方に移動し男鹿半島北西に分布する。
- 隠岐諸島西方と北方に新たな暖水域が形成される。
- 島根沖の冷水域の張り出しは、やや強め。
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、かなり弱め。
- 佐渡島沖、入道埼沖の冷水域の張り出しは、平年並みで経過する。

問い合わせ先

独立行政法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所 業務推進部

担当：関根、檜山

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>

平成25年度 第2回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2013年7月～9月）

- (1) 隠岐諸島北方と隠岐諸島東方の暖水域は、東方に移動し能登半島北西の暖水域と合体する。能登半島北西の暖水域は、やや西方に移動した後ほぼ停滞する。能登半島東方の暖水域は、弱体化して消滅する。佐渡島～男鹿半島の暖水域は、弱体化しながら北方に移動し男鹿半島北西に分布する。隠岐諸島西方と北方に新たな暖水域が形成される。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、やや強め。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、かなり弱め。佐渡島沖、入道埼沖の冷水域の張り出しは、平年並みで経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“かなり高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“平年並み”で経過する。

2. 経過（2013年3月～2013年5月）

- (1) 3月に隠岐諸島東方にみられた暖水域は、4月・5月に隠岐諸島～能登半島西方の沿岸域に勢力を拡大。3月に能登半島北西にみられた暖水域は、ゆっくり東方に移動し、5月には能登半島北北西に分布。3月に能登半島東方にみられた暖水域は、5月には勢力を拡大。3月に佐渡島～男鹿半島及び津軽半島西方にみられた暖水域は、勢力をほぼ維持。
- (2) 島根沖の冷水域は、3月はやや大きく接岸状況は平年並み。4月は規模・接岸状況とも平年並み。5月はかなり大きくやや接岸。山陰・若狭沖の冷水域は、3月はやや小さくかなり離岸。4月はやや小さく接岸状況は平年並み。5月はやや小さく接岸状況は平年並み。佐渡島沖の冷水域は、3月～5月は規模・接岸状況とも平年並み。入道埼沖の冷水域は、3月はやや小さく接岸状況は平年並み。4月はやや小さくかなり離岸。5月は規模・接岸状況とも平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温
3月は、隠岐諸島東方、鳥取県沿岸、能登半島北西、男鹿半島南方で“かなり低め”、能登半島北西はるか沖合の一部の海域で“かなり高め”以外は概ね“平年並み”。4月は、欠測域が多いものの、能登半島西方、山陰沿岸の一部の海域で“やや高め”～“かなり高め”、男鹿半島南方で“やや低め”以外は概ね“平年並み”。5月は、上越沖～青森県沖、丹後半島沖で“やや低め”～“かなり低め”、山口県沖、能登半島西岸で“やや高め”～“かなり高め”以外は概ね“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、3月は日本海西部・北部ともに“平年並み”。

3. 現況（2013年6月）

- (1) 暖水域は、隠岐諸島北方、隠岐諸島東方、能登半島北西、能登半島東方、佐渡島～男鹿半島に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、かなり大きく接岸状況は平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、かなり小さくはなはだ離岸。佐渡島沖の冷水域は、規模・接岸状況ともに平年並み。入道埼沖の冷水域は、規模は平年並みでやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、秋田県以南の本州沿岸では山口県沖、隠岐諸島東方、富山湾～男鹿半島南方で“かなり高め”～“はなはだ高め”以外は概ね“平年並み”～“やや高め”。青森県以北の沿岸では概ね“平年並み”～“やや低め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部・北部ともに“平年並み”。

(註) 引用符(“ ”)で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| “はなはだ高め(低め)” | : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ(低さ) |
| “かなり高め(低め)” | : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ(低さ) |
| “やや高め(低め)” | : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ(低さ) |
| “平年並み” | : 約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温 |

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産試験場	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人漁業情報サービスセンター (取りまとめ機関) 独立行政法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所